

2019 年度

夜間中学ドキュメンタリー映画「こんばんはⅡ」

映画上映会要旨

なぜ学ぶのか、なぜ夜間中学が必要なのか、
そのこたえがこの映画の中にある。

日時 2020 年 1 月 25 日（土）14:00～16:30

会場 伊勢崎市民プラザ 2 階 第 2 研修室

主催：群馬「こんばんはⅡ」 上映実行委員会

後援：群馬県教育委員会、伊勢崎市教育委員会

ご挨拶

「群馬県に夜間中学を作りましょう」これが私たちの願いです。

私たちは群馬に夜間中学校が絶対に必要であるという信念をもって集まりました。

メンバーは、子供たちの教育支援をしている団体、外国人のみなさんや海外にルーツを持つ青少年の支援をしているNPO団体、さまざまな理由で不登校を選択している児童生徒の支援団体、大学教員、市議会議員など、地域で活動をしているメンバー15名（当時）で、2019年11月に発足しました。

2019年10月から全国で映画「こんばんは II」のキャラバン上映会が行われています。

これを推進している「夜間中学校と教育を語る会」と連携をしながら、2020年1月25日に群馬県で最初の「こんばんは II」上映会を開催しました。

上映会には、群馬県の教育関係者のみなさま、県・市など行政関係者のみなさま、国会議員、県議会・市議会・村議会議員のみなさま、そして趣旨に賛同する多くの県民のみなさまが参集して会場を埋め尽くし、上映後の講演とディスカッションではフロアからの熱気と期待がひしひしと伝わる素晴らしいフォーラムになったと思います。

ご参加いただいた多くのみなさまに心から感謝をいたします。

上映会では、映画監督の森康行様、夜間中学卒業生の戎香里菜様、夜間中学教員の見城慶和先生から貴重なお話をうかがいましたので、その記録として本冊子を作成しました。

ご一読いただき夜間中学校についての理解を深めていただきたいと願っております。

上映会を振り返ると、夜間中学校という公的な教育機関に大きな可能性があることがわかります。

多世代、多国籍、いろいろな背景を持った人々が、老若男女ひとつの学び舎で学び合う。

これは、これから日本の教育の在り方を示しています。多様性（ダイバーシティ）、包摂性（インクルージョン）といった要素が教育現場には必要です。

こうした環境の中で学び、成長した人々が、将来の群馬県さらに日本を支える力強い人材になっていきます。

群馬県に夜間中学校を設置しましょう。

多くの賛同するみなさまと一緒に私たちは夜間中学校の設置を目指してチャレンジしていきたいと思います。

どうかご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

群馬に夜間中学をつくる会会長 奥山龍一

プログラム

2020 年 1 月 25 日（土） 14:00-17:30

司会：高崎健康福祉大学 教授

岡本 拡子

14:00-14:45 映画「こんばんはⅡ」上映

14:50-15:10 講演（1）

「 当たり前を問い直す 」

こんばんはⅡ 監督 森 康行

15:15-15:35 講演（2）

「 学ぶことは生き延びること 」

神戸市立丸山中学校西野分校卒業生 戎 香里菜

休憩

15:45-16:05 講演（3）

「 学びとは何か、今なぜ夜間中学校が必要か 」

自主夜間中学えんぴつの会 見城 慶和

休憩

16:10-16:35 トークタイム

森 康行

戎 香里菜

見城 慶和

井上 千恵実（元大泉町立西中学校教諭）

16:50-17:30 質疑応答

森 康行

見城 慶和

閉会

当たり前を問い直す

こんばんはⅡ 監督 森 康行

概要

夜間中学の事をもっと多くの方に知ってもらおうという想いで、夜間中学の先生や関係者の方々と力を合わせて作った映画です。同時に、この映画を通して学ぶとはどういう事なのか、現代の学校はどんなのかを改めてみなさんにも考えていただきたいと思いますという映画です。

2010年の国勢調査で、12万8,000人以上が義務教育未修了または学歴ゼロという状態で、今年の調査ではもっと増えるだろうと予測されます。さらに、2018年度の不登校者数は16万人を超えた状態で、これは前年度比2万人も増えているという勢いで、この中には義務教育を満足に受けてこれなかったという人も少なくないという状態です。そして、これから5年間にわたって34万5000人の外国の方が入ってきます。そういった人たちの教育の保証をどうするのかを考える必要があります。

夜間中学を訪問して分かったこと

夜間中学校の特徴は、1つは異年齢という事です。教室では10代～90歳の方々が一緒に学んでいます。高校進学を希望する人もいれば、計算ができるようになりたいという人、漢字を読めるようになりたいという人もいます。2つ目は、生まれた国や文化が違う人が一緒に学んでいるという事です。

この映画にも出てきますが、1週間学校を休んでしまうと、「勉強についていけなくなってしまうのではないだろうか」という考えから学校に通えなくなってしまう子がいます。今の学校生活では、テストをやり、競争させられ受験でふるいにかけられるという流れになっています。しかし、教育とは競争するためにあるのでしょうか。勉強は競争するためにあるのでしょうか。この根本的な問題を夜間中学校の教育では定義をしているのです。夜間中学校を知ってもらおうという事を含め、なぜ私たちは学ぶのだからという事を1人1人が考え答えを出していく必要がある気がするのです。



まとめ

夜間中学校という所は、年齢や文化が違う人が集まっています。学び直しというのは生き直すということに繋がっています。この映画にある「学ぶことは生き延びること」、これが教育と自分自身の人生を端的に表しているのだと思います。

【プロフィール】

森康行（もりやすゆき）

2003年公開の映画「こんばんは」を監督。その映画は東京都墨田区立文花中学校の夜間学級を舞台とするドキュメンタリー（92分）。見城慶和先生も教壇に立っている。映画「こんばんはⅡ」は、2019年公開の新たな監督作品（37分）。

学ぶことは生き延びること

神戸市立丸山中学校西野分校卒業生

戎 香里菜(えびす かりな)



フィリピンでの幼少期、働かなければ生きていけない中で教育に恵まれることがありませんでした。日本に来てからも過酷な環境におかれ、そこから逃げるようにして兵庫県にたどり着き、今の夫と出会うことができました。

兵庫県尼崎市の市立成良中学校琴城分校でフィリピン人の子供たちを支援する「子ども多文化共生サポーター」の仕事をして、夜間中学を知りました。おばあちゃんや、おじいちゃん、いろんな国の人っていて、熱心に学んでいる姿をま

のあたりにして、その光景に感動しました。自分も心から学びたいと思いました。

琴城分校の先生から、自宅の近くに夜間中学の西野分校があることを教えてもらいました。夫と子供たちの理解と協力があって、働きながら夜間中学校に通い「学ぶ」ことの楽しさを知ることができました。その後は定時制高校を卒業して、建設会社に就職し、建設重機操作の資格を取ることができました。

今、私がこうして生きているのは夜間中学と出会うことができたおかげです。

現在に至るまで、たくさんの人に支えてもらいながら道を開いてこられた気がします。夜間中学校を、義務教育を必要としている全ての方々にその権利を与えてほしいと思います。

【当日の発表資料(抜粋)】

多文化共生サポーターの仕事



夜間中学校卒業



男性の世界で働く一人女性 厳しい毎日



また、夜に学ぶ



学びとは何か、なぜ夜間中学校が必要か

自主夜間中学えんぴつの会 見城 慶和

はじめに

多文化共生社会を先取りした夜間中学校に関する近年の流れと特色についてみていきたいと思います。2015年7月30日、文科省の通知により、中学校を卒業していても、義務教育を十分に受けていない人へ夜間中学校への入学が認められました。2016年12月7日になると、義務教育機会確保法が成立し、夜間中学校が正式に認可されたのです。その後2017年3月31日には、「基本方針」を打ち出し、現在では、各都道府県に最低一校以上の公立夜間中学校を開設することが国の目標になっています。

夜間中学の特色

- どの人も自らすすんで夜間中学校に入学しています。
- 国籍や年齢、職業や人生経験も異なる非常に多様な人たちが、ともに学んでいます。
- 競争集団ではなく、学び合い、助け合う集団です。
- 分かるところから、分かるように学ぶを基本にしています。
- 「国際理解・国際交流」などと、改めて取り立てなくても、多様な人間集団そのものが多文化共生の、人間万歳を実感する学びの集団になっています。

夜間中学校での体験

私は、荒川九中をはじめ夜間中学校に携わって59年になりますが、ある生徒の卒業作文の一部を紹介したいと思います。

「鈍行列車：私は幼いときは家が貧しかったので学校へ行くことができなかった。ずいぶん年をとってから私は私の乗れる汽車を見つけた。それは夜間中学という鈍行列車。私の乗った駅は荒川九中二部駅。」



この方が乗った夜間中学校が鈍行列車であれば、当たり前といわれている小学校や中学、高校、大学は何でしょうか。それはリアモーターカーの様な速さで、ちょっと休んだらもう怖くて学校に行けず、振り落とされてしまいそうな激しい競争社会になってしまっているのではないのでしょうか。そんな風にしていい子が育つでしょうか。そのような学校の中で誰が幸せになっているのでしょうか。これは再度考えないといけない気がするのです。

【プロフィール】

見城慶和（けんじょうよしかず）

1937年群馬県沼田市生まれ。東京学芸大学卒業後、東京都内の3つの公立夜間中学校に通算42年間勤めた。退職後も自主夜間中学「えんぴつの会」を運営。1993年公開の山田洋次監督「学校」の西田敏行が演じた夜間中学の先生の主人公のモデルの一人。

開催案内

なぜ学ぶのか、なぜ夜間中学が必要なのか、
そのこたえがこの映画の中にある

夜間中学ドキュメンタリー映画

文部科学省選定

こんばんはⅡ

森 康行監督作品 ナレーター 大竹しのぶ

制作 夜間中学校と教育を語る会



上映とトークの集い

★日時 2020年1月25日(土)

14:00～16:30 (開場 13:30)

1. 上映 (37分)
2. 講演1 森康行 監督 (30分)
3. 講演2 見城慶和 先生 (30分)
4. トークタイム (30分)
森監督、見城先生、夜間中学卒業生、
不登校支援や外国人支援の人たちと
トークしましょう！

★会場 伊勢崎市民プラザ
(伊勢崎市富塚町220-13)
2階 第2研修室

講師プロフィール

★ 森康行(もり やすゆき)

2003年公開の映画「こんばんは」を監督。その映画は東京都墨田区立文花中学校の夜間学級を舞台とするドキュメンタリー(92分)。見城慶和先生も教壇に立っている。映画「こんばんはⅡ」は、2019年公開の新たな監督作品(37分)。

★ 見城慶和(けんじょう よしかず)

1937年 群馬県生まれ。東京学芸大学卒業後、東京都内の3つの公立夜間中学校に通算42年間勤めた。退職後も自主夜間中学「えんぴつの会」を運営。1993年公開の山田洋次監督「学校」の西田敏行が演じた夜間中学の先生の主人公のモデルの一人。

★定員 60名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

★申し込み方法 下記を添えてお申し込み下さい

必ずお書き下さい…… 氏名、住所、電話番号、メールアドレス

任意でお書き下さい… 職業または所属団体、国籍

今後のご案内を希望される方は、「メール希望」とお書き下さい。

【申し込み先】Eメール yakan.chugaku.gunma0125@gmail.com

または 電話 070-5021-9103 (担当 本堂)

※ お預かりした個人情報は、当委員会の運営及び今後のご案内・ご連絡の目的以外には使用しません。

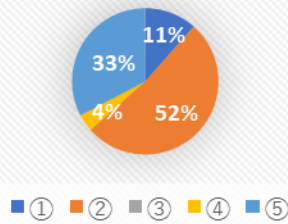
主催 群馬「こんばんはⅡ」上映実行委員会

後援 群馬県教育委員会、伊勢崎市教育委員会

アンケート結果 グラフ

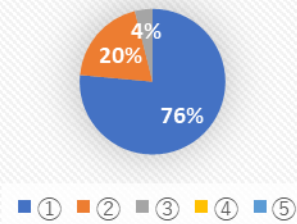
(グラフ下の項目別数字は件数)

情報入手経路



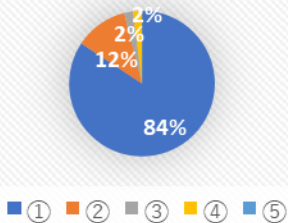
- ① チラシ 6
- ② 知人・友人 27
- ③ 委員会のHP 0
- ④ 委員会のFB 2
- ⑤ その他 17

上映について



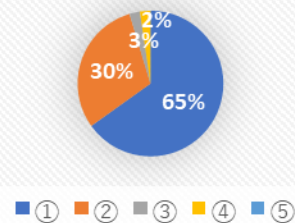
- ① 大変よかった 39
- ② よかった 10
- ③ ふつう 2
- ④ よくなかった 0
- ⑤ どちらとも言えない 0

講演について



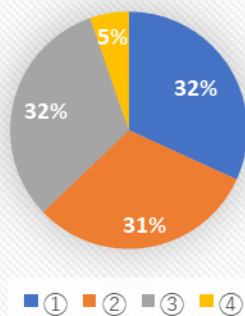
- ① 大変よかった 43
- ② よかった 6
- ③ ふつう 1
- ④ よくなかった 1
- ⑤ どちらとも言えない 0

トークについて



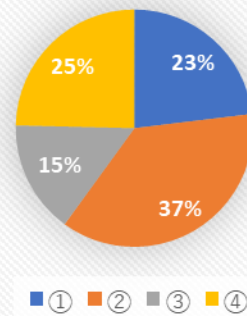
- ① 大変よかった 28
- ② よかった 13
- ③ ふつう 1
- ④ よくなかった 1
- ⑤ どちらとも言えない 0

夜間中学が必要な理由



- ① 不登校生徒が学べる 42
- ② 学齢超過も学べる 41
- ③ 外国人が学べる 42
- ④ 上記以外 7

設置地域



- ① 前橋・高崎 15
- ② 伊勢崎 24
- ③ 太田・大泉 10
- ④ その他 16

**群馬「こんばんはⅡ」上映実行委員会
名 簿**

2019 年 11 月 21 日現在

(五十音順、敬称略)

No.	氏名	所属等	備考
1	井熊ひとみ	NPO法人教育支援協会北関東 代表理事 共愛学園前橋国際大学 客員教授	
2	糸井昌信	大泉町国際交流協会 会長	
3	岡本扨子	NPO法人わくわく広場の会 理事長 高崎健康福祉大学 教授	事務局スタッフ
4	奥山龍一	共愛学園前橋国際大学 教授	会長
5	加藤彰男	群馬子どもの権利委員会 事務局長	
6	桐野嘉六	桐生市で元会社経営 赤石読書会 会長	
7	黒岩満	群馬中小企業家同友会 事務局長	
8	佐々木由美子	NPO法人わくわく広場の会 理事 足利短期大学 教授	
9	佐藤彰男	夜間中学校と教育を語る会 会員	事務局スタッフ
1 0	高橋清乃	日本語教師	
1 1	高橋眞知子	子ども日本語教室・未来塾 代表	
1 2	多田稔	伊勢崎市議会議員	事務局スタッフ
1 3	本堂晴生	NPO法人Gコミュニティ 代表理事	事務局長
1 4	茂木克美	多文化茶論 粋庵 庵主 (株) 茂木園 取締役会長	監事
1 5	山谷良一	YAMグループ 代表	

発 行

2020 年 10 月 30 日

群馬に夜間中学をつくる会

連絡先

群馬県伊勢崎市除ヶ町345-1

事務局長 本堂 晴生

メールアドレス yakan.chugaku.gunma0125@gmail.com

ホームページ <https://yakan-chugaku-gunma.wixsite.com/0125>

